

## 出会うの瞬間 (後期)

今月の後期生の出会うの瞬間のテーマは、「ショートショート」です。ショートショートとは、(読者で字の(とく)短)短い作品のことを指します。あまり時間をかけずに最後まで読み切ることが出来ます。一つ一つの作品は短いものの、一冊に多くの作品が掲載されており、内容の質も量も兼ねそろえた名書も数多くあります。欲張りのあなたに、ショートショート。

『つかげ』

吉本 ばなな

私の衝動的なプロポーズに対して、長い沈黙の後「つかげ」はこう言った。「秘密があるの」「幼いころ遭遇したある事件がもたらした、長い間目が見えなかったことのあるとかげ。彼女に惹かれていく私。暗い過去を持つ二人が出会い、再生する物語です。

『ピーターパンの島』

星新一

「ショートショート」の神「星新一」によるこの作品は、無邪気な子どもとブラックなエンドのコントラストが心に響きます。自分だったらどうするか、もっと他にできることがあったのではないか、そう考えさせられました。

また、一月二十八日(木曜日)の放課後に図書館で読書会を開催します。読書会のテーマも「ショートショート」で、田丸雅智著『夢巻』(大のり)、『夢巻』です。ふるって参加ください。  
(五年)

## スマホとの付き合い方

総務省のデータによると高校生のスマホの平均利用時間は約4時間とのこと。この数字を見て皆さんはどう思いますか。自分と比べて、多いと思った人も、少ないと思った人もいるでしょう。勉強を頑張ろうと思うている人にとって、スマホはなかなかの強敵です。今月はそんなスマホと上手に適切に付き合っていく方法を模索していきます。

まず、スマホを手放してみるのはいかがでしょうか。スマホがないと不便だという意見は当然あります。例えば勉強している間は親に預けるとか、必要のないアプリは思いきって削除してみるのもアリかもしれません。

次に、制限時間を設定するというのはいかがでしょうか。一日の利用制限をかけることで強制的にスマホから離れることができると思われます。

最後に、私が入っている方法を紹介します。それは必要のないアプリを非表示にすることです。普段目に入る位置に置くアプリはカメラや家の鍵勉強アプリを含めて12個に絞っています。そして、非表示にした「必要ないけど消したくはないアプリ」を使いたいときは一回百田を貯金箱に貯金すると決めていきます。こうすることでホーム画面はすっきりしておしゃれになるし、暇なときつい触ってしまうという行為を抑止できます。

皆さんも自分なりの方法を見つけて、便利だけでなく、時に私たちが時間を奪うスマホと上手く付き合っていくてください。

〈参考文献〉

『子どものネット依存 小学生からの予防と対策』  
『脱ネット・スマホ中毒』  
『ネットに奪われる子どもたち』  
(四年)

## 新刊紹介

仕事の実際からなり方までを解説  
『なるにはBOOKS』シリーズ

『AIエンジニアになるには』

丸山恵

『検察官になるには』

飯島一孝

『行政書士になるには』

三田達治

『国家公務員になるには』

横山和子

『特別支援学校教諭になるには』

橋口佐紀子

『薬剤師になるには』

井手口直子

何が学べるか、資格は？

『なるにはBOOKS』 大学学部調べ

『環境学部』

大岳美帆

『教養学部』

木村由香里

『薬学部』

橋口佐紀子

業界を詳しく知ろう！

『なるにはBOOKS』 補巻

『福祉業界で働く』

戸田恭子

『教育業界で働く』

三井綾子

『ゲーム業界で働く』

小杉真紀

社会に1歩を踏み出すために

『なるにはBOOKS』 別巻

『ミニシアムを知ろう』

横山佐紀

『もっとある！学校図書館の司書が選ぶ』

『中小生におすすめの本220冊』

東京・学校図書館スタンダード

プロジェクトチーム

『プロシエクトチーム』

『キャリア教育に役立つ！』

『官公庁の仕事』 監修：稲継裕昭

(四年)



## BOOKS ON (前期)

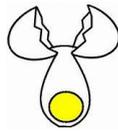
今月の出会いのワゴンは、2021で王様となった、「牛(丑)」の本を紹介します！

『日本の牛乳はなぜまずいのか』平澤 正夫  
様々な人が嫌う牛乳。しかし、現在の牛乳は昔よりおいしくなっている。少し古い本だからこそ分かることは。



『牛乳と卵の科学』 酒井 仙吉

皆さん毎日飲んだり食べたりにしている牛乳と卵。しかし、何故大量生産できるのかほとんど知られていません。読んでみると意外な理由が・・・。



『いのちをいたぐ』 内田 美智子

皆さんは、普段肉を食事として美味しく食べていますが、動物の命を解く人からすると、どんな気持ちになりますか？

そんな命を解く人の目線から考えた命の授業、泣いて感動するノンフィクション。

『狂牛病』と『立ち向かうか』 矢吹寿秀

一時期、世界を苦しめた「狂牛病」。何故世界に広がってしまったのか。何故長い間「狂牛病」は収まらなかったのか。今、コロナに苦しんでいるために、よく考えることができます。当時のNHK取材班が書いた病気への危機感を抱いてほしいという願いの込められた取材記。

(一年)

## バレンタインチョコ



二月二日はバレンタインデー。今年はどうなお菓子を作るのか、図書館で本を借りてじっくり悩んでみてはどうですか？おうち時間を使ってお菓子作りに挑戦してみましよう。

『へたおやつ』 白崎裕子

とっても気軽に簡単！初めてでも繰り返し作りたくなるようなやさしいお菓子のレシピ集。また、小麦粉、卵、バターなしで作れるので、アレルギーのある方でも大満足です。

『お菓子基本大百科』 谷山尚義

道具、身だしなみ、材料：お菓子のすべての基本が分かる！初級から上級まで、たくさん種類があります。自分に合ったお菓子に挑戦してみませんか？



荻田尚子

『魔法のケーキ』  
一つの生地を焼けば自然と出来るものそれが魔法のケーキ。特別な道具も材料も必要ありません。さあ、あなたもこの本を読んで魔法のケーキを作りませんか？

『誰でも失敗なくできるスイーツレシピ』

えもじよわ

お菓子って作るの難しそう…そんなあなたにおすすめるのがこの本です。

パリの料理人が教える、本格的なお菓子の数々。面倒な工程もこの一冊で完璧に分かっちゃいます！丁寧な解説で失敗なく作れます。どうですか？バレンタインを期に、いつも感謝している人に心のこもった手作りお菓子を作ってみましょう！



(三年)

## 新刊紹介(新書)

『実践 自分で調べる技術』宮内泰介・上田昌文  
『アメリカ大統領選』久保文明・金成隆一

『藤原定家「明月記」の世界』村井廉彦

『三島由紀夫 悲劇への欲動』佐藤秀明

『暴君』ステイブン・グリーンフラット

『ドイツ統一』アンドレアス・レーダー

『道教思想10講』神塚 淑子

『有島武郎』荒木 優太

『国際人権入門』申 恵

『性から読む江戸時代』沢山美果子

『人口の中国史』上田 信

『グローバル時代のアメリカ 冷戦時代から21世紀』古矢 旬

『カエサル』小池 和子

『美しい数学入門』伊藤由佳理

『コロナ後の世界を生きる』村上陽一郎

『中国』の形成 現代への展望』岡本隆司

『イスラームからヨーロッパをみる』内藤正典

『景観からよむ日本の歴史』金田 章裕

『シヨージ・オーウエル』川端 康雄

『ドキュメント 強権の経済政策』軽部謙介

『岩波新書解説総目録』岩波新書編集部

『リスクの正体』神里 達博

『障害者とともに働く』藤井 克徳

『過労死しない働き方』川人 博

『こころと身体の心理学』山口 真美

『インド神話』沖田 瑞穂

『かじ屋と妖精たち』脇 明子

『ベルリン1945 初めての春(上・下)』

クラウス・コルドン

(二年)



## 編集後記

新年あけました。今年  
は五年です。昔の総理大臣に純牛と呼ばれた大平正芳さんがいらっしやいました。私は大平さんみたいに死んでもなお周りに拒まれるような人になりたいと思いましたが、図書委員長という力を行使できませんが、まわりに笑止といわれたいように任期を全うすべく心新たに頑張ります。

今、空前？のラップブームが起きています。音楽ゲームの『ヒップホップマイク』を筆頭に女性陣に人気を博しています。その『ヒップホップマイク』で私が好きな曲はやはり「あゝオオサカ theaninight」です。

作詞作曲のoreokunの二人の音楽性に惹かれました。作詞のRー指定の書くライムのかたさ、DJ松永の世界一の手から放たれるメロディ、そしてキャラたちを生かす雰囲気！何もかもが良すぎます。この曲を聴いて推し変をした人が多発したと聞きました。やっぱりラスボスと世界一は違いますね。

(委員長)



